

ベトナム交通技術大学 (UTT) とのウェビナーの開催

2024年9月24日

2024年9月24日（火）、日本時間11:00～14:00、運輸総合研究所は、ベトナム交通技術科学大学（UTT）とウェビナーを開催しました。

■UTTについて

UTTは、1945年に公共事業大学（Public Works College）として設立され、2011年4月にはベトナム交通運輸省に直属する総合大学に格上げされた大学です。2017年には、高度教育の基準を満たしていると認められたベトナム最初の15国立大学の1つに認定され、現在に至っております。

UTTは、交通工学、機械工学、経済学、ロジスティクス、情報技術、エレクトロニクス、環境科学など、運輸業界と国民経済に貢献するための学術の応用工学を主な対象分野としており、2024年の学生数は約20,000人です。

■ウェビナー開催の経緯

2023年12月18日にハノイで開催しました「日越外交関係樹立50周年記念認定事業 持続可能な交通インフラ（鉄道、港湾、空港）の整備と運営～日本の経験を踏まえて～」(当該イベントの詳細は、運輸総研だよりVol.9 2024冬号P.15～を参照)に、UTTのKhiem会長が出席されました。その後、Khiem会長より上記イベントの内容を考慮し、ベトナム運輸省とも相談の上、運輸総合研究所との今後の協力の可能性を探っていきたいとの申し出がありました。これを受け、運輸総合研究所とUTTの担当者間で調整を行い、UTTの興味関心が高い（1）鉄道、（2）運輸部門の脱炭素化を軸としたウェビナーを開催することになりました。

■ウェビナーの概要

開催日時：2024年9月24日 日本時間11:00～14:00

1. 開会挨拶

- ・ Khiem会長より開会挨拶。2024年9月に発生した石川県奥能登豪雨の水害に対するお見舞いと、運輸総合研究所との協力関係の構築に期待している旨の発言
- ・ 藤崎研究統括より、2024年9月に発生した台風11号によるハノイの水害に対するお見舞いと、JTTRIの紹介、最近の研究テーマ一覧・発表可能テーマを紹介
- ・ 富田AIRO次長よりネットワーキングやイベントをはじめとするAIROの活動を紹介
- ・ 藤崎研究統括による運輸総合研究所の研究テーマ等の紹介



Khiem会長による開会挨拶

Examples of JTTRI's possible presentation themes

Transport System

- Japan's Public Transport Strategy in 2050
- Acceleration of Social Implementation of Automated Driving in Land Transport

Local Mobility for urban and non-urban area

- Sustainable New Mobility Services for Well-being: Cases from Japan
- Securing Mobility Instead of Private Cars for Elderly and Other Vulnerable People: A Japanese Case Study
- Measures to Strengthen the Infrastructure and Business Innovation of the Local Transport Industry in Japan
- Effects of Public Transport Use on Social Capital Building

Logistics

- Promoting Sustainable Logistics System Using Digital Technology
- Intention to Use Drone Delivery and Its Potential
- Improvement of Port Efficiency by Combining Sea and Land Digital Capabilities

藤崎研究統括による運輸総合研究所の研究テーマ等の紹介

2. 鉄道に関する研究事例紹介

- ・ 運輸総合研究所：日本の高速鉄道及び都市鉄道に関する報告（金山研究統括）、及び日本のTOD事例紹介（武藤主任研究員）
- ・ UTT：ベトナム鉄道の歴史及び高速鉄道研究に関する成果と方向性に関する報告（Thang土木学科副学科長）

Overview of results research directions on high-speed railway in Vietnam

URGENT ISSUES AND RESEARCH DIRECTIONS

Choosing technology to develop high-speed railway suitable for Vietnam's conditions

AGV

SHINKANSEN
ĐƯỜNG CAO TỐC TÀI NHẬT BẢN

China's high-speed railway, with the world's largest scale of high-speed railway with over 42,000km in just about 15 years

High-speed rail in Europe: with a developed and synchronized high-speed rail system in the European Union countries

Japan's high-speed railway: Japan's high-speed railway was the first in the world, built in 1964 with the Shinkansen bullet train reaching speeds of 210 km/h.

Thang 副学科長による鉄道研究紹介

3. 運輸部門の脱炭素化に関する事例紹介

- ・ 運輸総合研究所：運輸部門の脱炭素シナリオ分析について（谷口研究員）、及び交通分野の水素活用について（小御門研究員）
- ・ UTT：UTTにおける脱炭素研究に関する取り組み（Tuan 脱炭素研究チーム代表）

報告のあと行われた質疑応答では、Khiem会長からは船舶における水素利活用の実態についての質問や、UTTの参加者から日本の鉄道のメンテナンスにおける課題についての質問があり、とても盛り上がる質疑応答となりました。

最後のウェビナーの総括では、運輸総合研究所の藤崎研究統括からは、双方の研究分野を把握しながら、いずれかが設定したテーマに基づくセミナーや、お互いに興味関心のあるテーマにお互いが発表しあうセミナー等を開催していくことをUTTに提案しました。Khiem会長からは、水素について日本から学びたい等、個別テーマに関する直接の情報交換を含めて、様々な協力を検討したい旨の発言がありました。

また、このウェビナーを通じて、①運輸総合研究所とUTTは、今後の相互協力の可能性を継続して調整していくことが

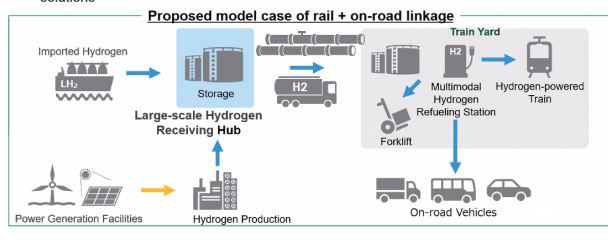
Research on Hydrogen Utilization in the Transportation Sector (2023-)

Objective

- To study the use of hydrogen fuel in the transportation sector in Japan, which has been lagging behind, by examining the use of hydrogen across the transportation sector and identifying highly-feasible model cases

Outline

- Present a feasible and foreseeable model for social implementation of hydrogen, taking into account the feasibility of efficient maintenance and operation through coordination among transportation modes and cross-sectoral coordination in the transportation
- Organize issues to realize a socially-implementable model and discuss a direction for solutions



小御門研究員による水素社会研究紹介

合意されたこと、一方で、②UTTにおける研究分野は幅広いこと（道路及び橋梁、鉄道に関する技術研究等）が分かりました。そのため、UTTとどのような分野で具体的な協力関係が構築できるかを検討するために、今後も継続した交流を進めていきたいと考えております。



運輸総合研究所側会場風景



UTT側会場風景



ウェビナー参加者の集合写真

